

会議議事録

会議の名称	第3次宇和島市健康づくり推進計画策定委員会
開催日時	令和6（2024）年11月13日（水）18:30～20:15
開催場所	宇和島市役所 地下会議室
出席者氏名	竹田委員、霜村委員、井関委員、武内委員、大久保委員、村谷委員、久徳委員、池田委員、春日委員、影山委員
欠席者氏名	
事務局職員氏名	保健福祉部 横山部長 保険健康課 山本課長、日出山課長補佐、節安係長、船田栄養士、船田保健師
会議次第	1 開会挨拶 2 委員自己紹介 3 会長・副会長選任 4 概要の説明 5 アンケートの結果報告 6 質疑応答・意見交換 7 閉 会
配付資料	第3次宇和島市健康づくり推進計画 計画の概要（骨子案） 宇和島市健康づくりに関するアンケート調査（成人） 報告書 宇和島市健康づくりについての小中学生アンケート調査 報告書 宇和島市高校生の健康づくりに関するアンケート調査 報告書 次第、委員名簿、策定委員会規則
その他	

議事内容	
事務局（進行）	・ 進行は、事務局が行います。 ・ それでは、概要の説明をお願いします。
（株）ぎょうせい担当者	・ 第3次宇和島市健康づくり推進計画計画の概要（骨子案）（以下「骨子案」）33 ページまで説明
委員	・ 出生率や死亡率のデータは令和4年だが、新しいデータがまだ出ていないのか。
（株）ぎょうせい担当者	・ そうです。現時点での最新データを入れていますが、例えば来年1月に新しいデータが出たら、更新するようにします。
事務局	・ 骨子案 34 ページ以降説明
事務局（進行）	・ 意見交換は後ほど行いたいと思います。続いて、アンケートの結果報告を行います。
（株）ぎょうせい担当者	・ 宇和島市健康づくりに関するアンケート調査（成人）報告書（以下「成人」）、宇和島市健康づくりについての小中学生アンケート調査報告書（以下「小中学生」）、宇和島市高校生の健康づくりに関するアンケート調査報告書（以下「高校生」）説明
事務局（進行）	・ 何か質問はありますか。
委員	・ 骨子案には、計画の「概要」とあるが、計画そのものか、それとも概要版か。
（株）ぎょうせい担当者	・ 現在の骨子案は計画の前半部分になるので「概要」と表記しました。目次にあるように、第3章の途中までとなっています。次回、全てできあがった状態の素案をお示しし、ご審議をお願いすることになります。

議事内容	
委員	・ 骨子案 10 ページ、高齢者を支える現役世代の減少の図は、下は 20～64 歳、上は 65 歳以上で描かれ「支える」という表現となっている。宇和島市でこのような「支える」ものはあるのか。例えば、年金だと支えるということはあると思うが、市として、図のような形で支えるものがないのであれば、世代間の対立の元になりそうな気がする。「支え合わないとだめですね」といったような表現の方がよいと思った。
(株)ぎょうせい担当者	・ 高齢者福祉にも関連するところですが、単に年齢だけで割っています。あくまでも一つの指標で、次回示す具体的な取組の中でいろいろな取組をご提示をすることになると思います。
事務局（進行）	・ 骨子案は前半を示していますが、後半は計画の考え方や事業の展開になるので、委員から意見をもらいたいと思います。今後の計画づくりに関して、それぞれの立場を踏まえて、意見等があればよろしくお願いします。
委員	・ アンケート調査の報告があったが、調査された人は通院ができると思う。 ・ これから高齢社会がどんどん進む中、通院困難な人の健康維持をどうするかを考えていかないといけない。特に歯科は二極化しており、片方は予防をする歯科医、もう片方は外来もするが、訪問診療する形だ。私は訪問診療を中心にやっているが、どういう需要があるかがつかみにくい。新型コロナの影響で訪問診療に出られない時期もあったが、落ち着いたので、本格的に考えないといけない時期に来ている。訪問して、健康維持のために健診するなどをこれからやらないといけないと思っている。 ・ 施設でまとめて行う健診もあれば、いろいろな場所に広がっていいということもある。どういう需要があるかを調べてもらったらよいと思う。
事務局（進行）	・ 訪問歯科健診を踏まえた上での需要だと思います。 ・ ほかの委員もそれぞれの立場からお願いします。
委員	・ 私たちは、一人一人の健康を守りたいという意識を持って取り組んでいるので、一般市民を巻き込んでというのが大変難しい。特定の団体で推進しているのが実情だ。アンケート調査報告書に食育への関心についての意見が載っているが、若い年代層の食育に関しては、私たちの会が呼び掛けて行うのは難しい。学校教育の中で、食育に関する知識を身に付けてもらい、子どもたちから親に伝達するという方法をとる方が多いと感じている。 ・ 血圧について、愛媛県は全国の中でも悪いという統計を見ると、食に関する認識と一つ一つの医療関係の取組が密着するということがどうしても難しいように思う。 ・ 野菜をたくさん食べようという取組で、どんなふうに野菜が育つか、どう管理しているかなどという基本的なこと等も、今の段階では私たちの会が教えようという呼び掛けまでに至っておらず、食育の授業を通していかないといけない。

議事内容	
委員 (続き)	・食育ではこんなことが大事だとか、私たちはこういうふうに理解しているということを子どもたちに話して聞かせ、家庭に持ち帰ってもらいたいという思いはあるが、行事などで忙しい学校の中では大変なことだ。子ども食堂等、いろいろな形で私たちが関係するところは、管理栄養士等にいろいろと教えてもらい、このようにしたらよいのかなという感じで今やっている。よい知恵があれば、教えてもらいたい。
事務局（進行）	・食育は学校からという意見がありました。それについて意見、お願いします。
委員	・最近強くいわれているのが、コミュニティスクールの推進だ。 ・小中学生、高校生にあった「自分のことが好きか」をはじめ、世の中を変えられるか、自分に価値があるかどうかについての回答が、各国と比べて日本は低い。自分には価値があると思っている子どもたちが少ないのはなぜかという、受験勉強や部活しかしない子が多く、大人と関わる機会がないからだ。そういう中で、地域とどう関わっていくかをコミュニティスクールという形でやっていく。成人の問いに地域活動をしているかどうかがあったが、これは子どもと一緒に、地域と活動する機会をどんどん増やしていくことが大事ではないか。 ・小中学生、高校生でスマートフォンの使用時間、ゲームの時間についての設問があった。私には高2と中2、小3の子がいるが、高2と中2が生まれたときはスマートフォンがはやっていなかった。一方、小3の子は生まれたときからスマートフォンがあるのが当然の生活だ。今、教育現場も転換期になっていると思うのは、これまでは試験で解く時代だったのが、今はチャット形式で問う時代になっていることだ。答えはスマートフォンが持っているから、いかに質問できるかという教育に変えていかないといけなくなっていると思う。自分たちも時代の変化についていけないところがあるが、教育現場の先生と話し合いながら後押しできたらと思う。
事務局（進行）	・スマートフォンもですが、地域との結びつきの話がありました。地域づくりや地域の結びつきについて、意見を聞いてみたいと思います。
委員	・普通、歯が痛くなれば歯科、おなかが痛くなれば病院へ行くが、どこも痛くなければ、進んで病院へは行かない。しかし健診は予防という意味で行く。私が毎年健診を受診している中で気付いたことがある。健診後に保健師に相談できるのは、健診で要精密検査の記載があった場合なので、健診会場へ保健師に出てもらい、何でも相談を受け付けるような体制を取ってくれれば、健診後にわざわざ行かなくてもよいのではないか。時間的な制約があるかもしれないが、日頃から健診会場に保健師に相談できるのではないかなと思う。
事務局（進行）	・参考にしたいと思います。 ・地域の結びつき等で何かありますか。

議事内容	
委員	・民生委員の重点的な活動は、70 歳以上の独居高齢者を月 1 回訪問することだ。独居だと健診は難しいので、最低、血圧くらいは測るような体制にしてはどうかと思っている。簡易式の血圧計があるので、可能であれば検討してもらいたい。高血圧などの問題があったとき、フォローしてくれるかどうかもある。
事務局（進行）	・地区担当の保健師がいるので、利用してもらいたいと思います。 ・女性の健康づくりについて、意見を聞いてみたいと思います。
委員	・婦人会は、宇和島市の連合会が以前はあったが、今は吉田にしかない。高齢者も多いので、皆が健康に歳を重ねていくことが一番と思っている。 ・地域で高齢者のサロンを行っているが、皆が行ける場、参加する場を作ることが大事だと思う。健康的に過ごすために、行く場があり、社会的なボランティアをすることで生きがいを感じられる、そういう地域になればいいと思う。今後の計画については、事業の周知の方法を考えて人が集まるようにしないといけない。
委員	・母子寡婦福祉会をしているが、昔と比べて今は行政からの手厚い保護があるので、母親の会への加入がない現状。一方で、運動会等の活動を実施すると、参加する人は皆、元気がよい。声を掛けてくれたから参加したという人もいる。例えばバスでどこかへ行くとなると、楽しかったという方が多い。今日は良かったと言ってもらえると、次の活動でも声を掛けようと思う。そこから自分たちも話しやすい雰囲気を作り「健診へ行った？」と声を掛け、皆で健診へ行こうというように、各団体で少しずつそういう形でできればよい。家でずっとこもってしまうと、不健康な感じになるので、準備する方はしんどいが、楽しめるよう活動している。活動に出て来てもらうようなものが作れたら、少しずつつながっていく思いがする。
事務局（進行）	・子どものことについては、あまり触れていませんが、こどもの立場からお願いします。
委員	・気になるのは出生率の低下だ。 ・中 2 の息子が今進路を考えている。宇和島市内には大学がないので、市内の高校へ進学しても、その後の大学等へ行く年齢になると、他県に行く子が多い。その子たちが大人になって仕事に就くとなったとき、宇和島市に戻ってきたいと思ってもらえたらいいと思っている。子どもたちにたくさん楽しい思いをしてもらいたい。

議事内容	
委員 (続き)	・住んでいる吉田町で今年度生まれた子は18人しかいない。来年、小学校が統合されることが決まっている。今1学年に3、4人しかいない状態から、36～40人前後になることはよいことだと思いつつ、学校が自分たちの地域から少し離れた所になることに不安を覚える。今の環境で体育、例えばサッカーをしようと思っても、1学年では成り立たない。 ・地域で子どもに対するイベントをやってくれている。地域のお祭りなどにできるだけ参加し、思い出ができるようにして、子どもたちに楽しいふるさとでよかったと思ってもらいたい。お祭りについて広報紙に載せても、広報紙自体を読んでいない人がいるので、声掛けなどがとても大事だと思っている。子どもたちが将来宇和島市に戻ってきたいと思うような地域づくりが大事だと思う。
事務局（進行）	・地域が希薄、地域行事に参加しない人が多いという調査報告もあったので、盛り込めたらよいと思います。
委員	・宇和島市の人口は67,000人くらいで、年々下がっている。産業があまりないので、企業が入ってもらえる土地にするなどしないと、子どもができない、結婚しない。戻ってくれるような場所にしてもらいたい。高校を出て外へ出て行ったらそれっきりという人が多いので、考えてもらいたい。昔はボウリング場や映画館もあったのに、今は何もない。そんな所で計画を立てても、人が増えないとだめなので、そちらから考えていかないといけない。 ・開業医が減っている。高齢の人が増えている。宇和島市の人口が減っているので、新たな開業医は来ない。開業医の子どもも帰ってこない。 ・魅力ある、未来の見える宇和島市にしてもらいたいと思う。いろいろと考えていると思うが、人口を増やす、産業を増やす、都会の人が移り住んでくれるようなことを考えてもらいたい。
事務局（進行）	・健康づくりの前に人口減少をとということでした。今「宇和島市まち・ひと・しごと創生推進計画」という計画を策定中で、人口減少やUターン、Iターンについて高校生に調査をし、同時進行で作っていると思います。この策定委員会の委員から意見が出されたことを取り入れられたらと思いました。
委員	・歯科の訪問診療についてだが、潜在的に歯科治療しないといけない人は相当数いる。以前は市の広報紙の最終ページに広告を載せていたので、在宅の依頼が来ていた。

議事内容	
委員 (続き)	・一度福祉センターのちらしにリストを載せたこともある。潜在的な需要があるので、広報紙で周知してもらえよう検討してもらいたい。 ・歯科の訪問診療を知らない人がほとんどなので、広報紙に載せる効果はある。在宅では口腔機能の維持が大事だ。歯のない人には義歯を入れないと、そしゃくできない。そうするとオーラルフレイルが起こる。口腔機能が落ちてくると、嚥下が問題になってくる。嚥下できないと介護度が飛躍的に上がってしまうので、介護度が低いうちに対策しておけば、介護度を上げなくても済むようになる。食事の介護を受けない環境づくりをしないといけない。
事務局（進行）	・保険健康課で一緒に何かできないか。検討したいと思います。
委員	・愛媛県では、国の計画を受けて計画を立てている。健康状態の改善はもちろんだが、アンケート結果でも「分かっているけど、めんどくさい」となる。 ・第3次県民健康づくり計画の基本的な方向3に社会環境の質の向上があり、社会のつながりや自然に健康になれる環境づくりがある。社会とつながることによって健康になれる、また、人や郷土愛、社会の関わりにつながると思う。個々の計画も大事だが、社会環境の質の向上も大事にして、計画を策定してもらいたい。
事務局（進行）	・今後の予定について ・閉会

以上